

## 第2期川越市歴史的風致維持向上計画（素案）の概要

### 1 策定にあたって

歴史的風致維持向上計画は、「地域における歴史的風致の維持及び向上に関する法律」に基づき、市町村が歴史まちづくり推進のために策定した計画を、国（国土交通省・農林水産省・文化庁）が認定し、積極的に支援するというものです。令和2年12月現在、全国で83都市が認定されており、川越市の第1期計画は、平成23年6月に、全国で26番目に認定されました。

第2期川越市歴史的風致維持向上計画では、第1期計画に位置づけた本市固有の歴史的風致である「川越祭り」「物資の集散」「寺社門前の賑わい」の考えを踏襲しつつ整理し、引き続き、関連事業の推進を図ります。

なお、国の認定計画となることから、進捗状況については、毎年度、進行管理評価シートを作成し、国との情報共有を図るとともに、市のホームページ等で公開してまいります。

### 2 第1期 川越市歴史的風致維持向上計画の総括

#### ○計画期間

平成23年6月から令和3年3月まで（10年間）

#### ○歴史的風致

「川越祭り」「物資の集散」「寺社門前の賑わい」

#### ○重点区域の範囲

面積：約207ha

#### ○第1期計画の主な取組

- ・旧山崎家別邸保存整備事業（H27年完了）
- ・時の鐘耐震化事業（H28年完了）
- ・歴史的地区環境整備街路事業  
（喜多院門前通り線、喜多院外堀通り線の一部、立門前線の一部）
- ・市指定文化財保存整備支援事業（松平大和守家廟所、三芳野神社 他）
- ・景観重要建造物等の修理補助事業（梅原家（旭舎文庫）、小島家住宅、他）
- ・新築修景補助事業（稲葉屋本舗、吉仁製菓 ※菓子屋横丁の火災復興支援）
- ・歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクル構築調査

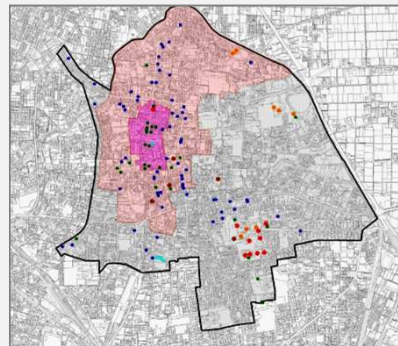
#### ○計画策定の効果

歴史的風致が向上したと約50.4%の市民が回答。10年間で観光客数は約173万人増加。

#### ○残る課題

※平成30年の市民意識調査の結果

旧川越織物市場保存整備事業等、計画期間内での完了が見込めない事業があることから、引き続き歴史的風致の維持向上に向け、事業の推進を図る必要がある。



### 3 第2期 川越市歴史的風致維持向上計画（素案）の概要

#### ○計画期間

令和3年4月から令和13年3月まで（10年間）

#### ○歴史的風致

「川越まつり」※「物資の集散と商業都市川越の発展」「寺社門前の賑わい」

#### ○重点区域の範囲

面積：約207ha

#### ○第2期計画の取組方針

- (1) 歴史的建造物の保存・活用に関する方針  
伝統的建造物及び景観重要建造物の健全な保存が図られるよう、支援の充実を図るとともに、修理履歴の情報を共有し、計画的な修理の実現と効果的な支援等に取り組む、地域に貢献する適切な保存活用を目指す。  
また、歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルを構築し、民間資金を活用した歴史的建造物の利活用促進を図る。
- (2) 伝統行事における人々の活動の継承に関する方針  
ユネスコ登録の実績や川越百景を活用し、魅力を発信し続けることで、活動の担い手の確保に努めるとともに、継承に寄与する活動に対する支援を行う。
- (3) 周辺環境の整備に関する方針  
引き続き、歴史的地区環境整備街路事業を推進し、点在する歴史的建造物や文化財を繋ぐことで歴史的町並みの魅力を高めつつ安全性・回遊性を確保する。
- (4) 歴史的風致の維持向上に資する支援に関する方針  
歴史まちづくりや、地域の魅力の創出に取り組む市民活動への支援を行う。

※「川越まつり」は、川越氷川祭+川越まつり協賛会による山車行事の範囲

## 第2期川越市歴史的風致維持向上計画（素案）の概要

### 川越まつりにみる歴史的風致

川越まつりは、城下町川越の総鎮守である川越氷川神社の秋の例祭を起源とし、江戸「天下祭」の様式や風流を今に伝える貴重な都市型祭礼として、城下町の繁栄を担った川越の人々によって370年の時を超えて守られ、川越の特色を加えながら市民プライドの拠り所として発展してきた。

歴史的建造物が残る町並みを背景に、交差点や通りでは、山車同士が相対し、囃子台から奏でられる囃子と提灯を掲げた曳き手達の掛け声が響き渡る様は、見る者を圧倒し、参加する市民を魅了し続ける。川越を代表する歴史的風致である。

### 物資の集散と商業都市川越の発展にみる歴史的風致

輸送方法や業態、商圈が変化した現在でも、団結した組織活動と共にモノとヒトとカネが集まる商業都市としての形態は継承されている。

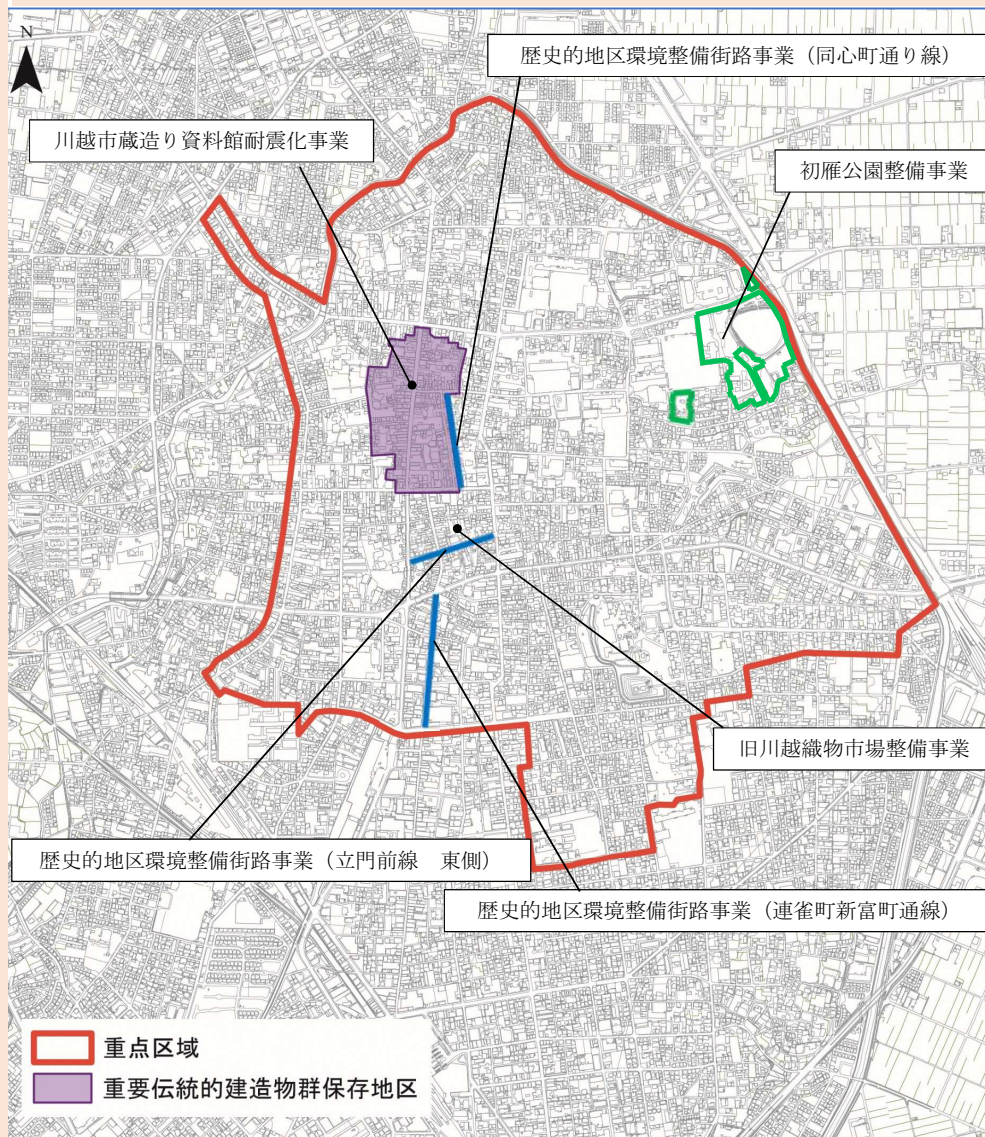
かつての米穀・織物という2大産業からは産業が変化しつつも、集散地ならではの異業種間の繋がりは持続され、埼玉県内有数の商業地として発展を続けた結果、金融業や商工会議所といった組織的な商業活動、財界人が集う料亭、伝統の味を守る老舗和菓子店、果敢に新しい取組みに挑む老舗商店の商いの形態は、時の鐘の音とともに世代交代を図りながら現代に受け継がれ、時代を象徴する歴史的建築様式の混在する町並みと渾然一体となって、歴史的風致を形成している。

### 寺社門前の賑わいにみる歴史的風致

門前町は表通りの余所行きの顔とは異なり、飴菓子や焼き団子、うなぎのかおりが漂う庶民的な場所であり、その懐かしい佇まいは訪れる我々を惹きつけてやまない。参拝や行事、縁日など、様々な目的で寺社を訪れる人々は、門前や境界に広がる料理店でお腹を満たし、菓子屋横丁などで買い物を楽しんでいる。菓子屋横丁名物の大きな麩菓子を持って通りを歩く観光客はすっかり見慣れた風景となった。

寺社地であるがゆえに無秩序な開発を回避してきた門前町には、料理店として愛される妓楼建築や、昭和初期の建物が残り、一見、時代に取り残されたかのように見えながら、いくつもの時代を古刹とともに乗り越えてきた門前の賑わいが、歴史的風致として息づいている。

### ○第2期計画の具体的な事業



### 旧川越織物市場整備事業



旧川越織物市場と旧栄養食配給所



整備イメージ

### 初雁公園整備事業

「歴史が結ぶ公園」をテーマとし、現在の運動公園から歴史公園として再整備を行う。本丸御殿周辺に広場を設ける。



初雁公園基本計画 鳥瞰図

### 【伝統的建造物群保存地区】

- ・伝統的建造物群保存地区保存整備事業
- ・伝統的建造物群保存地区内の景観補助事業
- ・伝統的建造物群保存地区保存活動事業への補助事業

### 【都市景観形成地域】

- ・歴史的風致維持向上地区修景補助事業
- ・まちづくり支援事業

### 【重点区域全域】

- ・景観重要建造物等保存整備事業（修理費等の補助）
- ・指定文化財の保存修理事業
- ・川越氷川祭の山車行事保存会、伝統民俗行事保存会等への補助事業
- ・歴史的建造物再生・利活用マネジメントサイクルの構築

## 第2期川越市歴史的風致維持向上計画（素案）の概要

### ○計画書の構成

#### 序章

1. 計画策定の背景と目的
2. 計画期間
3. 計画策定の体制
4. 計画策定の経緯

#### 1章 歴史的風致形成の背景

1. 自然的環境
2. 社会的環境
3. 歴史的環境
4. 文化財等の分布状況

#### 2章 維持及び向上すべき歴史的風致

1. 川越まつりにみる歴史的風致
2. 物資の集散と商業都市川越の発展にみる歴史的風致
3. 寺社門前の賑わいにみる歴史的風致

#### 3章 歴史的風致の維持及び向上に関する方針

1. 歴史的風致の維持及び向上に関する課題
2. 既存計画（上位・関連計画）
3. 歴史的風致の維持及び向上に関する方針
4. 歴史的風致維持向上計画の実施体制

#### 4章 重点区域の位置及び区域

1. 重点区域の位置及び区域
2. 重点区域の設定の効果
3. 重点区域における良好な景観の形成に関する施策との連携

#### 5章 文化財の保存又は活用に関する事項

1. 市全体に関する事項
2. 重点区域に関する事項

#### 6章 歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等に関する事項

1. 歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等についての方針
2. 事業  
全体事業位置図  
各事業シートの掲載

#### 7章 歴史的風致形成建造物の指定の方針

#### 8章 歴史的風致形成建造物の管理の指針となるべき事項



### ○計画書の主な記載内容

#### 序章

1. 第1期計画の総括と第2期計画の策定の必要性並びに目的を明確に記載。
2. 令和3年4月から令和13年3月までの10年間。
3. 川越市歴史的風致維持向上協議会の構成、庁内の推進連絡会議の体制を紹介。
4. 平成21年8月～令和2年現在までの第1期計画策定と第2期計画の検討経緯を表で掲載。

#### 1章 歴史的風致形成の背景

1. 川越市の位置、地形・地質、気象について既存データを掲載。
2. 川越市の沿革、地区区分の特徴、土地利用、交通機関、産業について既存データを掲載。
3. 川越市の古代、中世、近世、近代の歴史と歴史的風致に関連する人物を紹介。
4. 市内に分布する国、県、市の指定有形文化財（建造物・記念物）及び無形民俗文化財等を紹介。

#### 2章 維持及び向上すべき歴史的風致

1. 川越まつりの起源と実施の様子（準備、神幸祭、山車の曳行）や舞台となる町並みを規定。
2. 商業都市川越の発展に基づく現在の商業活動の様子や今も受け継がれる建物等を規定。
3. 喜多院のだるま市、蓮馨寺の縁日、菓子屋横丁など、門前界隈の賑わいと建物等を規定。

#### 3章 歴史的風致の維持及び向上に関する方針

1. 歴史的建造物の保存・活用、活動の継承、周辺環境、市民活動との連携・支援の課題を整理。
2. 第4次総合計画、都市計画マスタープラン、立地適正化計画、景観計画等との関係を記載。
3. 課題解決に向けた取組み（事業の推進、カルテの作成活用、民間資金の活用、啓発）の方針。
4. 歴史まちづくり推進の庁内連携体制（都市計画課、都市景観課、文化財保護課、関係所属）。

#### 4章 重点区域の位置及び区域

1. 川越城の範囲、城下町の範囲、喜多院周辺、川越街道、新河岸川の外縁となる約207ha。
2. 歴史的建造物の活用促進と観光客数増による地域経済の活性化、市の魅力向上等を期待。
3. 重点区域内における既存施策との連携の確認（都市計画、立地適正化計画、景観計画等）

#### 5章 文化財の保存又は活用に関する事項

1. 市内の文化財全体の保存・活用の状況、修理（整備）、施設整備、周辺環境整備の方針を記載。
2. 重点区域内の文化財の保存・活用、修理（整備）、施設整備、周辺環境整備の具体的計画を記載。

#### 6章 歴史的風致維持向上施設の整備又は管理等に関する事項

1. 歴史的街路や初雁公園、旧川越織物市場等の整備による歴史的風致との調和と公開・活用。
2. 事業 → 全体事業位置図及び具体的な事業名を表示

#### 7章 歴史的風致形成建造物の指定の方針

重点区域内の国以外の指定文化財、国の登録有形文化財、景観重要建造物等からの指定。

#### 8章 歴史的風致形成建造物の管理の指針となるべき事項

維持保存・管理や修理を行う上での調査記録の作成と復元的措置の原則。補助制度の活用。